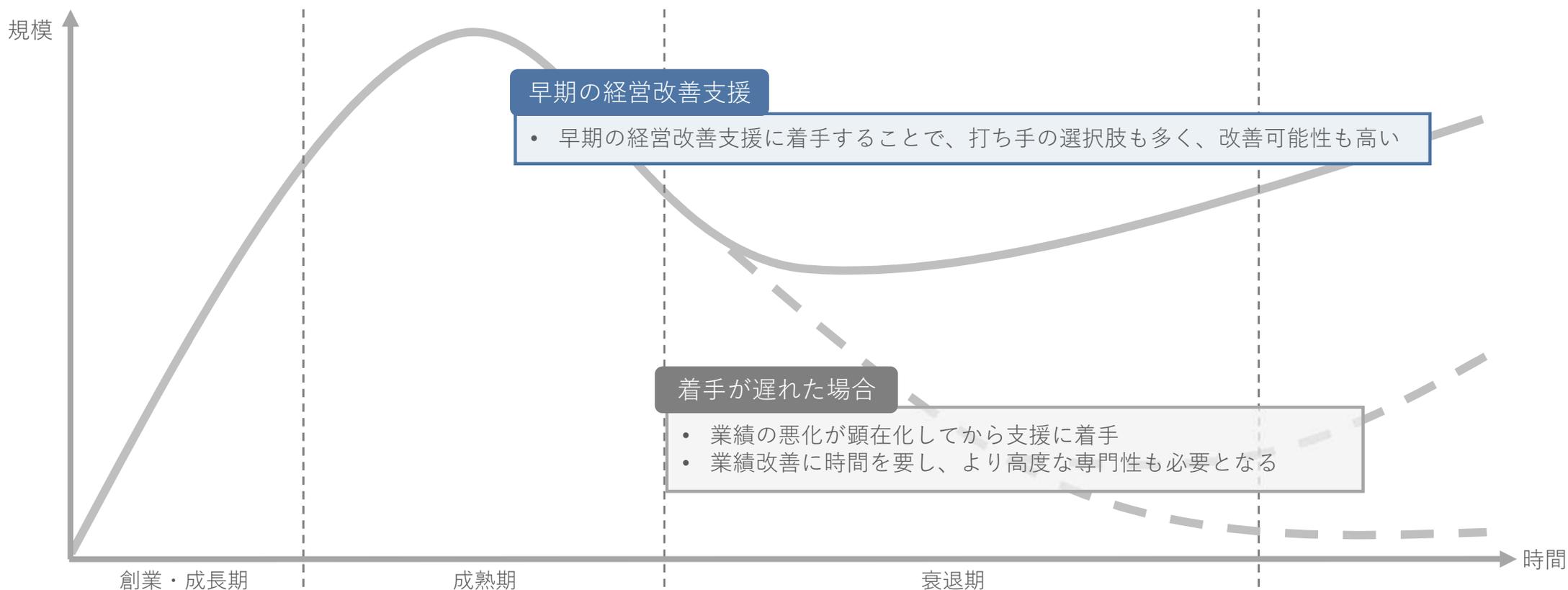


# 「AI技術を活用した経営改善支援の効率化に向けた調査・研究」 背景・目的

- 物価高騰や人手不足等の影響を受けた事業者が多く存在する中、地域金融機関が事業者の実情に応じた経営改善支援等を実施していくことが重要となっている。
- 経営改善の可能性を高めるためには、**打ち手の選択肢が多い早期の段階から経営改善支援に着手**することが重要。
- 事業者の**状況変化の兆候を効率的・効果的に把握するに際してのAI技術の活用可能性**について調査・研究を実施。

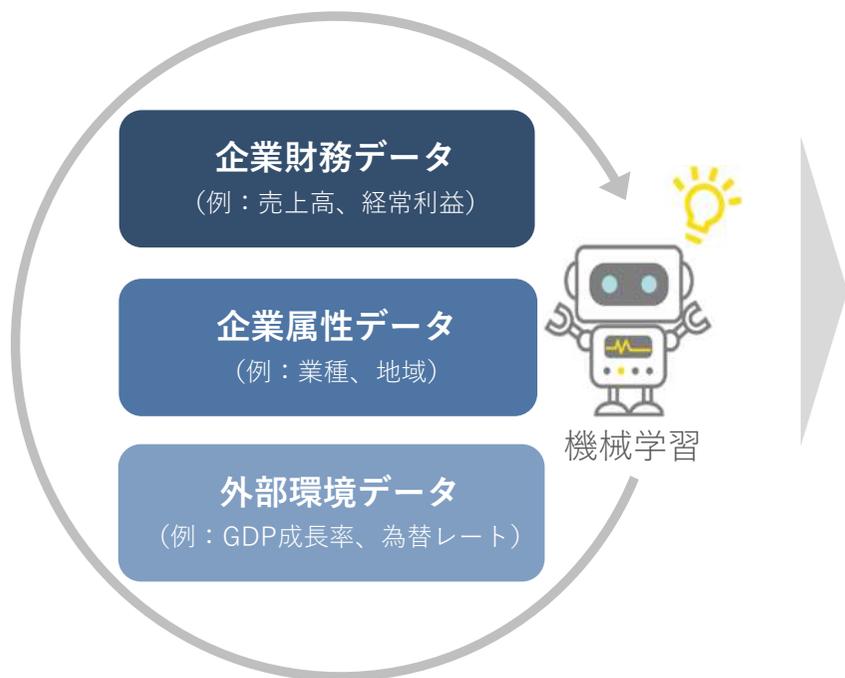


# 「AI技術を活用した経営改善支援の効率化に向けた調査・研究」 概要

- 本調査・研究では、金融機関の取引先を経営改善の必要性に応じて優先順位付けすることに資するAIモデルを構築するとともに、一部の地域金融機関への実務適用支援を通じて、AIモデルの実務での活用可能性や活用上の留意点等を整理した。
- その結果、AIモデルを活用することで、地域金融機関における要支援先の優先順位付けが、より効果的・効率的に行えるようになる可能性が示唆された。

## 【AIモデル構築のイメージ】

### 汎用的なAIモデルの構築



### 結果のアウトプット例（経営改善支援先の優先順位付け）

NO	企業名	地域	業種	AIスコア
1	(株) ○○商店	□□県△△市	小売業	<u>64</u>
2	(有) ■■工芸	○○県△△市	製造業	<u>33</u>
3	(株) △△食品	△△県○○市	製造業	<u>25</u>
4	●●工業 (株)	○○県○○市	製造業	<u>12</u>

(例) 金融機関では、現状業況に問題がない先と認識していたが、AIスコアが低いので、経営者と業況等について早期に対話